

環境経営研究会（環境研究会・CKK グループ）：
平成 26 年度活動報告および平成 27 年度活動計画(案)

担当幹事 長安 敏夫

1. 平成 26 年度活動報告

- (1) 化学工学会第 79 年会で環境活動レポートの意義と当グループの支援活動などの紹介講演を実施した。
- (2) CSR 報告書、環境報告書への第三者意見提供
2013 年度に引き続き、法人化会員である綜研化学(株)様より環境・社会報告書 2014 に対する第三者意見提供業務を発注いただき、実施した。化学工学会第 79 年会の発表を聴講された 1 社より第三者意見提供について受注の動きがあったが、中断された。
- (3) 法人会員へのアンケート実施
9 月に法人会員 15 社に、当グループの紹介と利用いただける活動の調査を目的としたアンケートを実施し、3 社より回答をいただいた。
- (4) CSR 報告書、環境報告書についての研修活動
経済産業省「環境報告書プラザ」に公表の約 60 社の CSR・環境報告書についてグループ員分担して解析しまとめる作業に入った。報告書の望ましいあり方などに関する当グループとしての見解をまとめることを目的とする。
- (5) グループの目的変更と新たな「環境経営研究会」名の研究会としての発足
3 月の幹事会で承認された
研究会の目的は環境、安全面の視点から企業の保安・環境活動、法令順守、社会的責任対応力向上に役立つ支援を行うことである。その具体的方法として
 - 1) CSR 報告書、環境報告書への第三者意見を提供する
 - 2) CSR 報告書、環境報告書作成を支援する
 - 3) 現地視察、相談等によるコンサルティング、検討報告書提出などを行う
- (6) 化学工学会第 80 年会のポスターセッションにて発表

2. 平成 27 年度活動計画（案）

前項の（4）の継続実施

法人会員へのアンケート再実施検討

目的の（1）（2）（3）の実現機会の増強に向けての活動実施。機会があれば協力して実施。

研究会メンバー増強